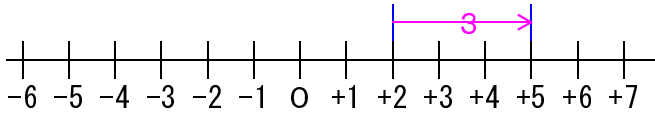


**【解説】 正の数・負の数の計算の仕方**

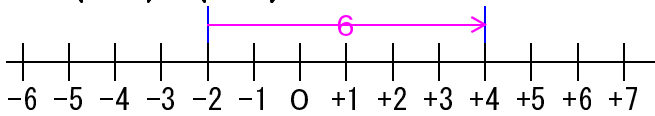
正の数・負の数の計算は、はじめのうちは数直線で考える。 [ 正の符号(+)は省略してもよい ]

和の符号 → ↓

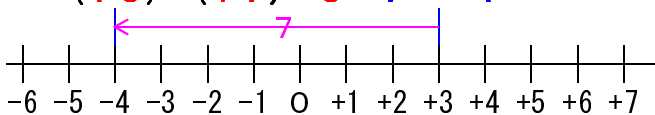
- ①  $(+2) + (+3)$  の計算は、温度が  $2^{\circ}\text{C}$  から  $3^{\circ}\text{C}$  上がると  $5^{\circ}\text{C}$  になるように **2より3** 大きい数を求めることだから  
 $(+2) + (+3) = 2 + 3 = +5$



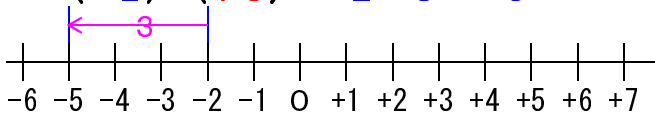
- ②  $(-2) + (+6)$  の計算は、温度が  $-2^{\circ}\text{C}$  から  $6^{\circ}\text{C}$  上がると  $4^{\circ}\text{C}$  になるように **-2より6** 大きい数を求めることだから  
 $(-2) + (+6) = -2 + 6 = +4$



- ③  $(+3) - (+7)$  の計算は、温度が  $3^{\circ}\text{C}$  から  $7^{\circ}\text{C}$  下がると  $-4^{\circ}\text{C}$  になるように **+3より7** 小さい数を求めることだから  
 $(+3) - (+7) = 3 - 7 = -4$



- ④  $(-2) - (+3)$  は **-2より3** 小さい数を求めることだから  
 $(-2) - (+3) = -2 - 3 = -5$



- ⑤  $-2 - (-6)$  は **-2** から **-6** をひくことで、**-2** に **+6** をたす ことと同じだから②の計算と同じになる。 (反対の反対は元と同じ)

$-2 - (-6) = -2 + (+6) = +4$

( 表 → 反対 → 裏 → 反対 → 表 )

- ⑥  $2 - (-6) = 2 + (+6) = 8$

**要点** ( 符号が同じならたす、ちがえばひく )

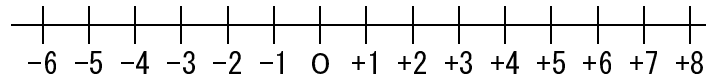
$-2 + (+5) = -2 + 5$  ( $-2$  より  $5$  大きい数)

$-2 + (-5) = -2 - 5$  ( $-2$  より  $5$  小さい数)

$-2 - (+5) = -2 - 5$  ( $-2$  より  $5$  小さい数)

$-2 - (-5) = -2 + 5$  ( $-2$  より  $5$  大きい数)

**【問題1】** 数直線を使って次の計算をしなさい。



- ①  $(+3) + (+5) =$
- ②  $(-3) + (+5) =$
- ③  $(+3) + (-5) =$
- ④  $(-3) + (-5) =$
- ⑤  $(+3) - (+5) =$
- ⑥  $(-3) - (+5) =$
- ⑦  $(+3) - (-5) =$
- ⑧  $(-3) - (-5) =$
- ⑨  $(+5) + (+3) =$
- ⑩  $(-5) + (+3) =$
- ⑪  $(+5) + (-3) =$
- ⑫  $(-5) + (-3) =$
- ⑬  $(+5) - (+3) =$
- ⑭  $(-5) - (+3) =$
- ⑮  $(+5) - (-3) =$
- ⑯  $(-5) - (-3) =$
- ⑰  $(-5) + (+5) =$
- ⑱  $(-5) + (-5) =$
- ⑲  $0 - (+5) =$
- ⑳  $0 - (-5) =$

**【問題2】** 次の計算をしなさい。

- ①  $-2 \ 3 + 2 \ 5 =$
- ②  $1 \ 5 + (-1 \ 8) =$
- ③  $-3 \ 4 - (-2 \ 0) =$
- ④  $6 + (-1 \ 6) =$
- ⑤  $-2 \ 7 + 2 \ 7 =$